

特集 平成28年度施政方針

強みを磨く ～飛躍するMRJのふるさと～

三月一日(火)、平成二十八年豊山町議会第一回定例会において、鈴木幸育町長が平成二十八年年度の施政方針演説を行いました。
今月号の特集では、その全文をお知らせします。

はじめに

平成二十八年第一回豊山町議会定例会の開会にあたり、関係諸議案の審議に先立ちまして、新年度、町政に臨む私の所信と主要な施策の方針につきまして申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

平成二十七年度は、MRJ(三菱リジヨナルジェット)が開発期間7年の年月を経て初飛行に成功しました。我が国初の国産ジェット旅客機であるMRJの開発は、今後、我が国の産業をリードするプロジェクトであり、この豊山で、その節目となる初飛行の日を迎えたことは、本町の誇りです。平成三十年中にANA(全日空)への1号機の納入が始まれば、民間航空機の産業ピラミッドが、国内で唯一、この地域で完成します。地元自治体としても全力をあげて応援してまいりたいと考えています。

航空宇宙産業を中心とした夢が広が

一方で、財政的には、個人町民税や固定資産税の増加は見込めるものの、法人町民税の税率の引下げなどにより町税全体の底上げには、達しておりません。

施策の推進にあたっては、これまでと同様に、行財政改革の推進と事業の選択と集中により、限られた人材や財源などの資源を効果的に活用し、子や孫の世代に大きな負担を残さないように、努めてまいります。

昨今、少子高齢化・人口減少の影響によって存続が懸念される自治体もあります。幸いにも、本町においては、人口は増加傾向にあります。しかし、人口推計では、平成三十二年をピークとして、それ以降減少に転じる見込み

となっております。

人口減少は、税収の減少や地域産業における人材不足など、町の将来へ様々な影響を及ぼします。こうした中、その対策として、現在、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しており、平成二十八年度から本総合戦略に基づく事業を実施してまいります。

MRJの量産工場があることや、県営名古屋空港の立地など本町にしかない強みを活かしながら、子どもが元気で、若者が活躍し、高齢者がいきいきと暮らすことができる、活力あるまちづくりを進めてまいります。

平成二十八年度当初予算の概要と施策の特徴について

それでは、平成二十八年度当初予算の概要と施策の特徴について、申し上げます。

新年度予算は、「将来を見据えた事業実施と健全財政維持の両立」を基本方針としています。二年目となる第四次総合計画後期基本計画の各事業を着実に推進するとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略などに基づく新たな課題にも対応する予算編成としています。

一般会計の総額は、58億2100万円、対前年度比1億8400万円、3・3%の増となっております。

